

お花の育て方

赤塚がお届けするお花の管理方法から育て方まで

★赤塚植物園インターネットショッピングページへはこちらからどうぞ★

AKATSUKA INTERNET SHOPPING

アカツカインターネットショッピング

金のなる木のお手入れ方法



特徴

南アフリカ原産で正式には花月と呼ばれる多肉植物です。「金のなる木」の名は肉厚で小判型の葉を密生させるところから付けられたようですが、みずみずしく丸々とした葉は、いかにも裕福そうで、南の方位に飾ると勝負運がアップするとも言われています。サボテンと同じ性質でとても丈夫です。眺めているだけで心も豊かになりそうな、不思議な魅力の観葉植物です。

水やり

サボテンと同じ性質で乾燥にもとても強く、逆に水が多すぎると根腐れします。生育の盛んな初夏から夏の間は、用土の表面が乾ききってから、鉢底から水が流れ出るくらいたっぷり与えます。(根腐れを防ぐため、受け皿には水を溜めないようにしてください。)気温が下がりはじめたら少なめに、冬の間はほとんど与えません。目安としては、春と秋は1週間から10日に一度、夏は4~5日に一度、冬は月に一度少量少なくくらいでしょう。

場所

明るい室内が適しますが、閉めきった室内で強い光線に当たると葉焼けするので、注意してください。窓辺に置くときは必ずレースのカーテンなどのあるところします。初夏から秋までは雨の当たらない屋外でもかまいませんし、慣らせば直射日光も大丈夫です。日光に充分当てて育てると、葉が硬くなり、ガッチリと丈夫に育ちます。寒さには弱いので、冬はなるべく暖かい部屋に置くようにしますが、暖房器具の近くは傷みやすいので避けてください。夏も、エアコンの風が直接当たる場所は避けてください。

肥料

初夏から夏までの生育期間は市販の液体肥料を規定濃度に薄めて水やり代わりに与えるか、または市販の園芸用固形肥料を規定量で株もとから離して鉢の上に置いてやります。秋から冬の間は与えません。

植え替え

入手してから1年ほど経ったものは、5~6月に一回り大きな鉢に植え替えます。冬越しで傷んでしまった場合は、傷んだ根や葉を整理し、小さめの鉢に植え替えます。用土はサボテン用のものか、または金のなる木専用の培養土を使います。

その他(花の咲かせ方)

大きな株は上手に管理すると、冬から春にかけて花が咲きます。直射日光に良く当て、8月に入ったら水を控えめに管理します。また、夏から秋には肥料を与えないようにします。